

Bicerin MIDLAND SQUARE

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>全ては細かいことの積み重ね。「小さなことからコツコツと」を社訓にバックヤードの本社スタッフはもちろん各店舗のスタッフを含め、皆がそれぞれのセクションでできる活動を一丸となって取り組んでいます。</p>			
		<p>目指すゴール</p>	<p>取組・活動内容とゴールとの関係</p>	<p>目標</p>
	経済	<p>アジェンダ 1 2・13・17</p>	<p>12. つくる責任 つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を 17. パートナリシップで目標を達成しよう</p> <p>イタリアからの輸入品に対し、地産地消を進めることでフードマイレージを削減し、店舗でのフードロスを削減することで環境問題を含めたこれらのゴールを達成する。</p>	<p>フードロスをなくすため、百貨店などの商業施設から迫られる「売り切れ率」と戦います。またイタリアからの輸入食材に対するフードマイレージを減らすため、2022年末までにトータルな食品ロス率を全社で5%以内に抑えるようにいたします。HACCAPへの対応も完備し、食の安全に対して取り組んでいます。</p>
	社会	<p>アジェンダ3・5・8</p>	<p>3. すべての人に健康と福祉を 5. ジェンダー平等を実現しよう 8. 働きがいも経済成長も</p> <p>チョコレートの売り上げの一部をコロナと戦う日本赤十字に寄付をしています。そのことで社会全体の医療負担を減らす取り組みです。</p> <p>また、社内スタッフのダイバーシティーな職場環境づくりとして、LGBTや身体障害者及び高齢者雇用の促進を行って負います。</p>	<p>チョコレートの売り上げの一部をCOVID19に携わる医療機関として日本赤十字社へ寄付をしています。2022年末までこの活動を継続する予定です。</p> <p>ダイバーシティーな職場環境を目指し、LGVT及びセカンドキャリアにおける高齢者スタッフの人数比率を2025年までに全支社の20%まで引き上げる計画をしています。</p>
環境	<p>アジェンダ 11・14・15</p>	<p>11. すみ続けられるまちづくりを 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう</p> <p>店舗のある街のごみ拾い及びビーチクリーン活動を行うことで、町の環境及び海洋プラスチック問題など、環境問題へとアプローチしています。</p>	<p>Bicerinライフセービング部の立ち上げとともに、毎年夏にはビーチクリーン活動、その他の季節には各店舗周辺のごみ拾い活動などを進め、町の環境美化及び海洋プラスチックへの対策をしています。</p> <p>また、商品のパッケージの紙パルプの削減を進めています。</p> <p>この活動は2025年にかけて活動の参加人数を年間1000人に向けて啓もう活動を進めていきます。</p> <p>紙パルプの削減においては2025年までに現在より30%さらに削減する目標を立てています。</p>	